

拠点

拠点 4 板橋 (板橋区立赤塚福祉園)

1) 事業概況(運営方針・目標の実施状況)

今年度は、生活介護事業56名(定員60名)、就労継続支援B型事業39名(定員40名)、計94名でスタートした。年度途中の入所施設への移行等により、生活介護事業の年度末の在籍者数は49名となった。

福祉園全体では、責任者クラスの職員による運営会を組織し、福祉園全体として、一体的な運営に努めた。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い板橋区から示された運営方針に基づき、園内における感染防止対策の徹底、園内宿泊(防災宿泊)を含めた行事の中止、飲食を伴う不特定多数の人と接触する場所への外出の制限、家族連絡会の分散開催等、感染防止対策に重点をおいた運営を行った。なお、東京都の感染者数の増加に合わせて、職員・利用者ともに感染者が確認されたが、板橋区、保健所との協議の上、事業毎の休園に留めることで、園全体としては、運営を継続することができた。しかしながら、感染状況への不安等から利用を自粛する利用者も多く、特に、生活介護事業と緊急保護事業においては大幅な利用率の低下につながった。指定管理者独自事業としては、引き続き、延長サービスを実施したが、休日開園を予定していた地域総合防災訓練については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。また、デイセンターきららの自主製作品とワークセンターはばたきのラスク等の統一ブランド「ATB」については、板橋区内外のイベント等への積極的な参加を通じて、ブランド力の向上及び販売活動の強化を図ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により対面による販売が中止となっていることに対応するために、他団体との共同によるオンラインの活用に取り組んだ。

事故防止については、マニュアルや事故(再発)予防の検討・周知の手順等の整備が整い、事故事例とヒヤリハット事例からの予防対策の検討を主任-副主任主導で実施する体制がとれていた。次年度はよりセクションでの管理・責任体制を明確にすることで、事故(再発)予防の体制はとれると思われる。事故予測のための意識や姿勢の育成は、継続して行う必要があると思われる。

権利擁護に関しては、今年度、権利擁護-虐待防止対策に関する法人共通の指針が策定され、これまで策定してきた人権擁護・身体拘束等の適正化のためのマニュアルやガイドライン等を法人理念に基づいて集約することができた。次年度は、管理職層・指導監督職層で虐待事案の発見や更なる対策の検討、啓発教育・予防のための研修企画実施などを行う委員会を実働していくこととする。特に身体障害を有する方への支援における身体拘束の課題についてはまだ議論が尽くされておらず、ガイドラインの拡充も視野に継続して検討していく必要がある。

人材育成・定着については、全般に、個々の職員の研修課題(育成目標)に基づいた育成活動が充分に行えなかった。特に、役割や業務の意味や意義についての理解不足が多く見られ、それを補う対策も効果をあげにくかった。個々の職員の努力がチーム-法人が掲げる援助活動の目標、理念、方針に合致し、貢献している実感を得られるような育成や運営の工夫を地道に進める必要がある。また、職員研修については、オンライン研修による外部研修への参加を進めた他、非常勤職員を含めた全職員の研修機会の確保を目的として、新たにeラーニングを導入し、2022年度からの本格実施に向けて研修体系の見直しを行った。

生活介護事業においては、日々の連絡帳とサービス提供記録を合わせた様式を用いることで、家庭との相互理解を深めることができた。あわせて、コロナ禍ではあったが、区立福祉園準化基準の範囲内において「在園時間の延長」を行い、「延長サービス」とともに家庭支援の一助となっている。また、介助用リフトやアシストスーツなど介助用備品を活用し、利用者の介助への安心感を高めるとともに、車椅子利用者を対象として従来からの検診車での実施に代えて板橋区医師会病院での胸部レントゲン撮影を実施するなど、職員の心身的な負担の減少や福祉業界全体にわたる人手不足を補う対応を行った。しかし、新型コロナウイルス感染拡大による感染防止対策により、食事の2部制の継続など、引き続き、生活プログラムの見直しを余儀なくされた。その中でも、動物園の出張サービスの利用や以前では取り組むことが少なかった

園内での活動に力を入れるなど工夫し、サービスの提供に努めた。

就労継続支援B型事業においては、作業種が多岐にわたったことで、利用者の選択の幅が増え、利用者の強みを生かした作業展開ができた。一方、生活支援の必要があるケースが散見される為、次年度以降も他機関との連携等を含め、取り組んでいく。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベントやキャンペーン等の中止、自粛が相次ぎ、マスク販売や企業からの受注作業依頼は減少しており、工賃の減少傾向は続いている。この状況に対し、販路開拓の一つとして、インスタグラム等のSNSを活用した情報発信にも取り組んだ。

緊急保護事業については、近年、介護者の高齢化に伴う急な入院、障害児を中心とした家庭内の問題等により、長期利用を要する利用が増加しており、短期入所事業利用までのつなぎとしての利用を含め、板橋区との調整を要するケースが増えている。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により利用率は半減しているが、緊急を要する利用については、従来通り、板橋区との協議により対応した。また、板橋区における地域生活支援拠点への整備について、赤塚ホームの活用方法の提案を含め積極的に参画し、引き続き、各関係機関とも連携していく。

板橋区との関係については、相談支援事業の円滑な実施に向けて、引き続き福祉事務所、相談支援事業所等との連携を進めた。また、施設整備として、2階EPS内の給水管が経年劣化のため破裂し、2階の大部分が浸水、1階の天井にも一部影響があった。給水管は、他の場所でも破裂の可能性がある。これに加え、2018年度、板橋区により実施された屋上防水工事についても、漏水が継続しているため、引き続き対応を協議していく。防災に関しては、区立福祉園として災害発生時の地域の拠点となるべく、福祉避難所としての役割を整理し、また、新型コロナウイルスをはじめとした感染症等への対応として、感染防止対策の徹底を図り、「新型インフルエンザ特措法」に基づくBCPの実効性を図った。その中で、利用者・ご家族への毎月の緊急メール訓練の取組みを、PCR検査受検時の通知としても活用した。また、区立福祉園の民営化の検討については、検討の進捗状況及び今後の予定について、利用者・家族向けに説明会が開催されることになっていたが、新型コロナの感染状況により、延期となった。改めて、2022年度以降に板橋区としての方針が示される予定である。

地域との関係においては、地域のオープンスペース「赤ニコ広場」を活用した展示販売活動や「赤塚ジモパ」をはじめとした地域行事への積極的な参加を通じて、より密接な交流を進めてきたが、開設以来参加してきた「地域総合防災訓練」と同様、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止となった。また、篠ヶ谷戸町会に加え、地域のNPO法人等の協力を得て開催してきた福祉園祭りについては内容を変更し、職員と利用者のみでの開催とした。地域包括ケアシステム「板橋区版AIP」の支えあい会議下赤塚に会議体の構成員として参画するとともに、板橋区社会福祉法人施設等連絡会の活動についてもオンライン等を活用し、新型コロナウイルス感染拡大の状況下において活動が縮小されている状況ではあったが積極的に参加した。

2) 月間・年間行事等実施状況

別紙のとおり。

3) 職員体制

組織図を添付

4) 職員研修

①事業所内研修

期日	研修名	開催場所	参加職員
毎月	動作法研修（牛山卓也講師）	園内	きらら職員
毎月	動作法研修（藤岡孝志講師）	園内	きらら職員
5月12日	車椅子・移乗講習	園内	全職員対象
5月14日	嚥下講習	園内	きらら職員
5月19日	バスリフト操作講習	園内	きらら職員
5月25日	介護リフト講習	園内	きらら職員

9月23日	個人情報保護研修	園内	全職員対象
10月29日	環境教育研修	園内	全職員
1月17日	バスリフト操作研修	園内	きらら職員

②法人内研修

期日	研修名	開催場所	参加職員
5月17日	新人・新任職員フォローアップ研修①	園内	6名
5月18日	新人・新任職員フォローアップ研修②	園内	6名
6月8・11・15・16日、8月12日	新人・新任職員フォローアップ研修③	園内	6名
	夏季療育合宿	中止	
9月23日	フォローアップ研修	園内	全職員対象
10月 1日	全体新人研修	園内（オンライン）	6名
12月 1日	法人事務局研修	園内（オンライン）	3名
	冬季療育合宿	中止	
2月中	全体職員研修①	赤塚福祉園	全常勤職員
3月19日	全体新人研修	赤塚福祉園	2名
3月19日	全体職員研修②	赤塚福祉園	全常勤職員

③外部研修

期日	研修名	開催場所	参加職員
6月25日	上級救命講習	北区防災センター	1名
6月26日	東社協・ファシリテーション研修	オンライン	1名
7月3日	東社協・向精神薬学習会	オンライン	4名
7月19日・20日	東京都サービス管理責任者等研修	オンライン	1名
7月19日・20日	東京都サービス管理責任者等演習指導者養成研修①	オンライン	1名
7月30日・8月16日	東京都サービス管理責任者等研修	オンライン	1名
8月20日	東社協・強度行動障害の支援について	オンライン	1名
9月10日	東社協・都通研合同学習会	オンライン	1名
11月8日	発達障害支援協会・ZOOM 実践研修	オンライン	1名
11月30日	東社協・事務スタッフ研修	オンライン	1名
12月2日	板橋区・栄養管理講習会	オンライン	1名
12月8日	全自者協・滋賀 WEB 大会①	オンライン	1名
12月9日	全自者協・滋賀 WEB 大会②	オンライン	3名
12月13日・14日	東京都サービス管理責任者等演習指導者養成研修②	オンライン	1名
12月15日	東社協・支援力アップ塾	オンライン	1名
12月18日	東社協・都通研合同学習会	オンライン	1名
12月24日	東京都サービス管理責任者等演習指導者養成研修③	オンライン	1名
12月～1月	東社協・財務マネジメント中級 ～財務管理の実務を知り、決算書を分析する～	オンライン	1名
1月12日	東京都サービス管理責任者等更新研修	オンライン	3名
1月29日	厚生労働省・障害福祉関係指導監督等支援事業（事業者研修）	オンライン	1名
2月25日	東社協・支援スタッフ部会講演会	オンライン	1名
3月11日	東社協・高齢重症化への対応を考える	オンライン	1名

3月29日	いたばし社福連・災害研修	オンライン	1名
-------	--------------	-------	----

5) 実習生等の受入

形態	受入先	人数
業務研修	人事院公務員研修所	中止
学生実習	東京都市大学	1名
	日本社会事業大学	2名
	星美学園短期大学	1名
	東洋大学	1名
	目白大学	1名
	大東文化大学	1名
	大正大学	1名
	東京都立赤羽北桜高校	2名
教員免許介護等体験		希望者なし
職場体験	川崎市立御幸中学校（WEB対応）	3名
法人拠点間研修		停止
ボランティア	個人	停止
	福祉園祭り（一般）	中止
	福祉園祭り（赤塚第三中学校・吹奏楽部）	中止

6) 施設整備（建物改修、設備・備品等購入等）

- ① 給水管破裂補修（経年劣化）工事
- ② 赤塚ホーム玄関改修工事

7) 健康診断等

- ① 定期健康診断
10月22日 野田市小張病院出張検診 職員18名受診
検査項目：血圧、血液検査、尿検査、心電図、便潜血検査、胸部レントゲン
- ② 生活習慣病予防検診
各自で受診 職員35名受診
検査項目：血圧、血液検査、尿検査、心電図、便潜血検査、胸部レントゲン
胃部レントゲン、聴力検査
- ③ 夜勤対応健診（緊急保護事業のみ）
検査項目：診察、血圧測定、視力、聴力、身体計測、尿検査
※新型コロナウイルス感染状況により今年度は実施せず
- ④ ストレスチェック
2月に実施 職員54名 同友会に委託
- ⑤ 東京都集中的検査（抗原定性検査）
2月25日、3月4、11、18、25日
全職員対象

別 紙(事業報告書関係)

赤 塚 福 祉 園 年 間 行 事 等 実 施 状 況 (2021年度)

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	2	入園式			3 0	職員会議		防災教育	2 2	衛生委員会
5月		全体家族連絡会 (分散開催)			2 8	職員会議			2 0	衛生委員会
6月		センター別家族連絡会 (延期)		活動公開 (中止)	2 8	職員会議			1 7	衛生委員会
7月	1 7	赤塚福祉園祭り (内部開催)			2 6	職員会議			1 5	衛生委員会
8月					2 7	職員会議	3 1	安否確認訓練	1 9	衛生委員会
9月		区スポーツ大会 (中止)			2 3	職員会議	1	安否確認訓練 施設安全確認訓練	1 6	衛生委員会
10月					2 9	職員会議	13, 14	総合訓練	2 1 2 2	衛生委員会 利用者健康診断
11月		センター別家族連絡会 (分散開催)			2 8	職員会議		引き継ぎ訓練 (11/16～12/17)	1 8	衛生委員会
12月					2 4	職員会議			1 6	衛生委員会
1月	7	成人の祝い			2 8	職員会議			2 0	衛生委員会
2月				活動公開 (中止)	2 5	職員会議			1 7	衛生委員会
3月		全体家族連絡会 (書面開催)			1 9 3 1	全体職員研修 職員会議			1 7	衛生委員会

組織図(板橋区立赤塚福祉園)

